



社会研究部

社会研究部「野人論」、
山本部長へのインタビュー

野人とは？

天王寺高校の生徒、卒業生。
定義は周知のものではない。



(天王寺高校、野人たちの場所)

野人論について

インタビュー 社会研究部の山元さん、自己紹介をお願いします。

山元 山元です。お願いします。

インタビュー では社会研究部の方も「野人論」を唱えています。社会研究部の野人論の本質はざっくり何でしょうか。

山元 「野人」という言葉は、天王寺高校の中においてよく使われていると思うんですけど、その意味は人によってやっぱり微妙に違うんですよね。

インタビュー なるほど。

山元 一応それでも僕たちは天高の野人とされているわけじゃないですか。だから、一人の野人として、私たちはどう野人であるべきかというのを考えようと思い、作りました。

インタビュー なるほど。ではこれらの研究を応用できる分野などございますでしょうか。

山元 そうですね。やっぱり、「野人たれ」ということをよく言っているように、「野人とは何か」っていうのを考えるということは「自分たちがどう生きるか」ということに直結してくる重要な問題だと思うんですよ。それを一人の天高生、野人として考えることは価値のあるものだと考えています。

インタビュー ではこれから社会研究部の野人論としての展望はございますか。

山元 天王寺高校の代表的な野人(OBの先生など)を伺ってさらに野人とは何かを追い求めています。しかし、恐らくこれは答えのない問いだと思います。この理想を追いかけていくというのはすごく楽しいという一面もあると思うので、これからも頑張っていきたいと思います。

インタビュアー はい。ありがとうございました。

山元 ありがとうございます。

後輩の皆さん、内なる地理、政治、野人への情熱は誰にも負けない、山元社研部長と社会研究部で、野人について考えてみませんか？